

# 青年部大会開催!

11月15日(木)山形市の「山形国際ホテル」において大会が開催され、県内の組合青年部員ら40余名が出席し、業種を越えた活発な交流が行われた。

はじめに、「全国菓子博覧会広島大会の山形ブースに飾る紅花工芸菓子の制作について」をテーマに山形県菓子工業組合の東海林文明青年部長が発表した。全国菓子博覧会は、菓子業界で最大のイベントで、会場では菓子の展示販売のほかに菓匠やパティシエによる「工芸菓子」も多数展示される。今回は、青年部が中心となり、本物の紅花をイメージして工芸菓子を作って出展し、山形を全国にアピールする計画。そのため、青年部活動活性化事業を利用して、工芸菓子の技術に関する講習会を行う予定である。立派な紅花を作り上げ、全国の方からの関心を集めるような作品を作るとともに、facebookを活用し、青年部員が中心となって山形の菓子に関する情報発信。菓子だけでなく、山形の農産物や人柄の発信、そして観光までつながるような展開を期待していると語った。

次に、「県の産業施策と組合青年部に期待すること」と題して山形県商工労働観光部の山川秀秋産業政策課長が、本県産業の現状と対応、施策の方向性などを説明。組合青年部活動を通じて、同業種、異業種の人的ネットワークを構築してほしい、と述べたほか、人々に支えられる人格を身につけてほしい、とエールを送った。その後の山川課長との意見交換では、山形県中小企業青年中央会の庄司会長、渡辺副会長と玉井副会長、山形県菓子工業組合青年部の長谷川氏らから積極的な提案や要望が出された。

また、交流懇親会には、吉村美栄子知事も出席し、華やかな雰囲気の中、次代を担う若手経営者との交流が深まる有意義な大会となった。

